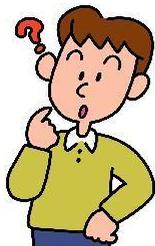


この地方の風土病であった 日本住血吸虫病 根絶の経過を調べる

『日本住血吸虫病』『宮入貝』という言葉をご存知でしょうか？
鳥栖では、風土病であるこの病からの、多くの被害に悩まされていた時代がありました。

悪化により死に至る場合もあったこの病は、長く人々を苦しめました。しかし、戦後実施された撲滅事業と地域住民の協力により、撲滅に成功し平成2年安全宣言がだされました。

住血吸虫病についての図書やwebサイトをご案内します。



日本住血吸虫病とは

日本では筑後川流域と山梨県・広島県の一部でしか見られなかった風土病。糸くずのような形をした日本住血吸虫が皮膚から体内に入り肝臓と腸に寄生して卵を産む。すると、腹水がたまり、悪化すると黄疸が出、死に至る場合もある。便とともに排出された虫卵は、ある特定の貝(中間宿主)に侵入し、この中で幼生になる。それが、また人に侵入して成虫になるという感染の連鎖を繰り返す。長い間人々を苦しめてきた恐ろしい感染症。

ミヤイリガイの発見

大正2年(1913)、九州大学医学部教授、宮入慶之助は、酒井西町の用水路で、中間宿主となる新種の巻き貝を発見。この貝以外で日本住血吸虫は生活できないことが立証され、この貝を撲滅させることが病根絶の対策となることが判明した。この貝の和名は発見者にちなんで「ミヤイリガイ」と命名された。

宮入慶之助氏→



撲滅へ向けての取り組み

戦後、佐賀・福岡両県で本格的なミヤイリガイ撲滅事業が実施。地域住民の協力のもとミヤイリガイの分布調査に合わせて用水路のコンクリート化殺貝剤の散布などが徹底して行われた。

その結果平成12年3月に病気の根絶と対策事業の終息を迎えた。

(参考資料: 鳥栖市誌第4巻、市報とす平成25年11月号)

★まず鳥栖市の歴史の本の中で、内容をつかんむにはこの本

書名	著者	出版年・月	背ラベル
鳥栖市誌 第4巻「近代・現代編」 P566～	鳥栖市教育委員会	2009.3	A 092.1ト
鳥栖の歴史読本 P182～183	鳥栖市教育委員会	2009.9	A 092.1ト



→『鳥栖の歴史読本』(右側)は、鳥栖市誌の入門書としての1冊。オールカラーで読みやすく図書館でも人気の1冊。

どちらも、貸出用の複本も揃えています。

★詳しく調べるには

書名	著者	出版年・月	背ラベル
佐賀県の日本住血吸虫病撲滅について	片淵 秀雄	1959.4	A 094.0 キ

→鳥栖市の県保険所長を務めた後、日本住血吸虫研究室長を務めた片淵氏。出版は、昭和34年。まさに撲滅の戦いのまっただ中であり、むすびの文章等からは、なんとしても撲滅をやり遂げるという強い決意が伝わってくる。

筑後川流域における日本住血吸虫病撲滅史	塘 普	1986.3	A 094.8 ツ
---------------------	-----	--------	-----------

→写真や新聞記事などもあり、この病気を知らない世代にも、わかりやすい。

筑後川流域における日本住血吸虫病と宮入貝	筑後川流域 宮入貝撲滅対策 協議会事務局	2000.3	A 094.8 カ
----------------------	----------------------------	--------	-----------

→特に安全宣言に至る経緯や、根拠となる資料が豊富。

住血吸虫病と宮入慶之助	宮入慶之助記念誌 編纂委員会	2005.11	A 094.0 ミ
-------------	-------------------	---------	-----------

→宮入慶之助氏の業績。人となりを紹介。現時点での世界の住血吸虫感染等をまとめた論文も収録。

ジストマとの戦い 生まれ変わる筑後川	塘 普	1988.3	A 094.8 ツ
地方病は死なず	泉 昌彦	1979.12	A 094.1 イ
死の貝	小林 照幸	1998.7	916コ

宮入先生学勲碑



鳥栖市曾根崎町
に昭和27年に建立。



★インターネットで映像を公開している。(YouTube)

→いずれも古いものですが、日本住血吸虫病の恐ろしさ、撲滅の困難さ、研究の偉大さが分かる。

① 「地方病とのたたかい・第1部」(文部省選定)

企画:山梨県地方病撲滅協会 製作:東京文映株式会社 1978年

<https://www.youtube.com/watch?v=X7ecMNDYvwu>

② 「地方病とのたたかい・第2部」

<https://www.youtube.com/watch?v=kaz0vyEm79o>

③ 「日本住血吸虫」企画:イカリ消毒 製作:東京文映

<https://www.youtube.com/watch?v=3GI6f6GPPZ6w>

※ 寄稿文の紹介

①国立科学博物館企画展

「日本はこうして日本住血吸虫症を克服した、ミヤイリガイの発見から100年」によせて

<https://www.kahaku.go.jp/event/2013/05kekkyuchu>